

4. 町内意識アンケート調査

太陽光発電等のクリーンエネルギーや地球温暖化問題に対する意識、クリーンエネルギーの利用状況・今後の利用意向等を把握するために、住民・事業者を対象としたアンケート調査を実施しました。

4. 1 住民意識調査

調査対象者数は、性別・年齢・地域のバランスを考慮した無作為抽出による 1,000 名です。アンケート調査票の郵送発送・回収による自記入方式で、平成 22 年（2010 年）9 月 10 日～30 日（締切り）に実施しました。

有効回収票数は 466 票、有効回収率は 46.6%でした。

(1) 回答者プロフィール

性別は男女比がほぼ半々、年齢は「60代」「50代」の割合が若干高くなっていますが全ての年代から回答を得ています。職業は「会社員」「主婦」が高く、世帯構成は「二世帯世帯」が最も高くなっています（図 4. 1-1）。

また、居住地は、「中地区」（35.2%）が最も高く、次いで「伏見地区」（26.0%）、「御嵩地区」（22.5%）、「上之郷地区」（11.2%）となっています。

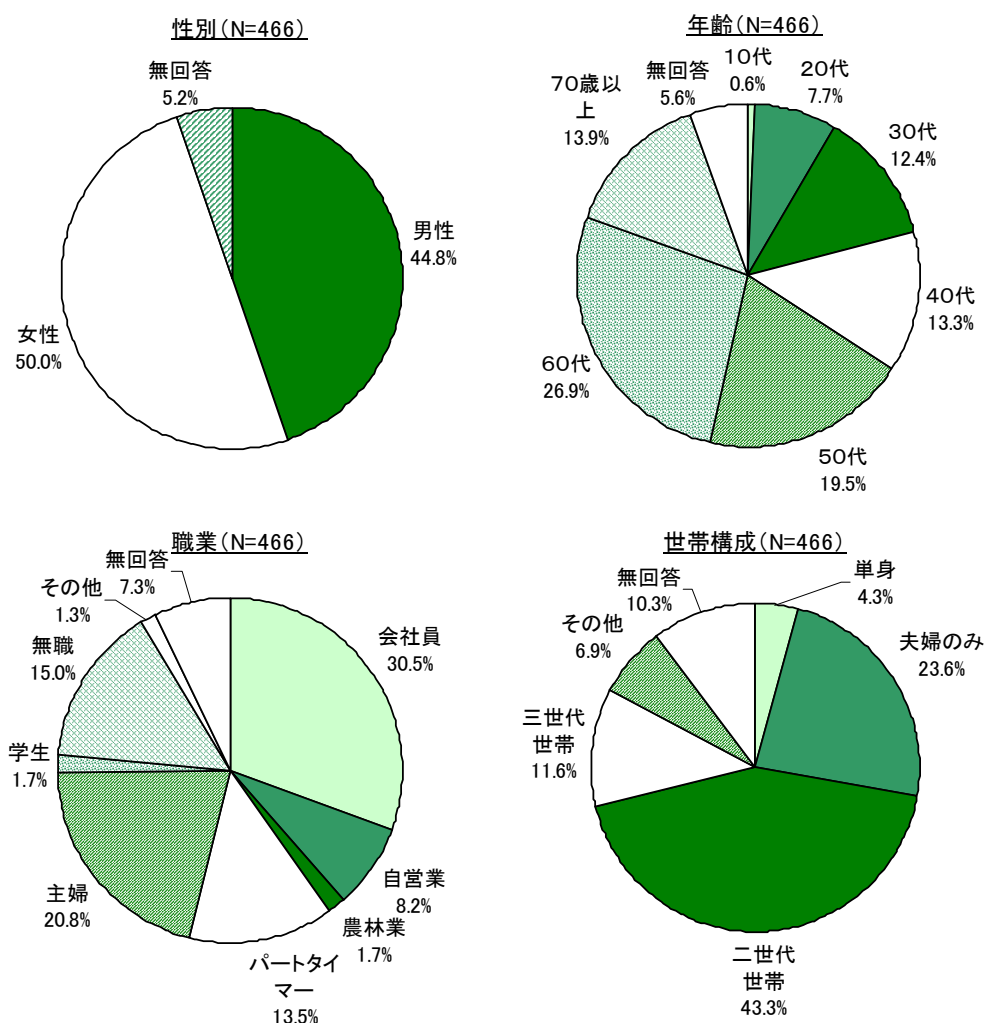


図 4. 1-1 回答者プロフィール

(2) 地球温暖化問題・クリーンエネルギーの関心度

地球温暖化問題の関心度（「非常に関心がある」と「関心がある」の合計）は約8割、クリーンエネルギーの関心度は約7割を占めています（図4. 1-2）。

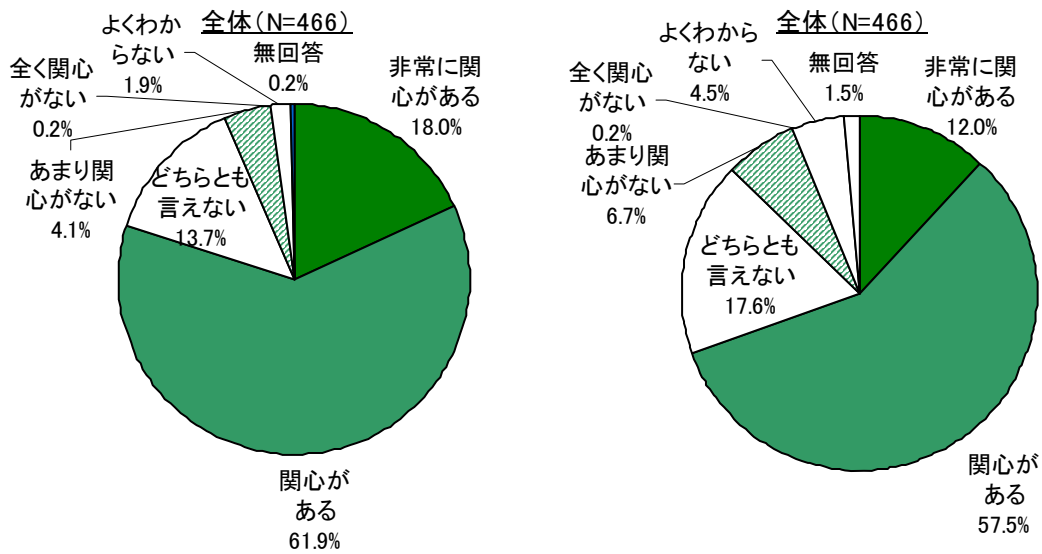


図4. 1-2 【左】地球温暖化問題・【右】クリーンエネルギーの関心度

(3) クリーンエネルギーの利用状況

既に利用しているクリーンエネルギーは、「太陽熱温水器」(10.9%)が最も高く、次いで「太陽光発電」(5.2%)、「ソーラーシステム」(1.9%)、「木質ペレットストーブ」(0.4%)となっています。また、検討中及び条件によっては利用したいクリーンエネルギーは、「太陽光発電」が約5割を占め最も高くなっています（図4. 1-3）。

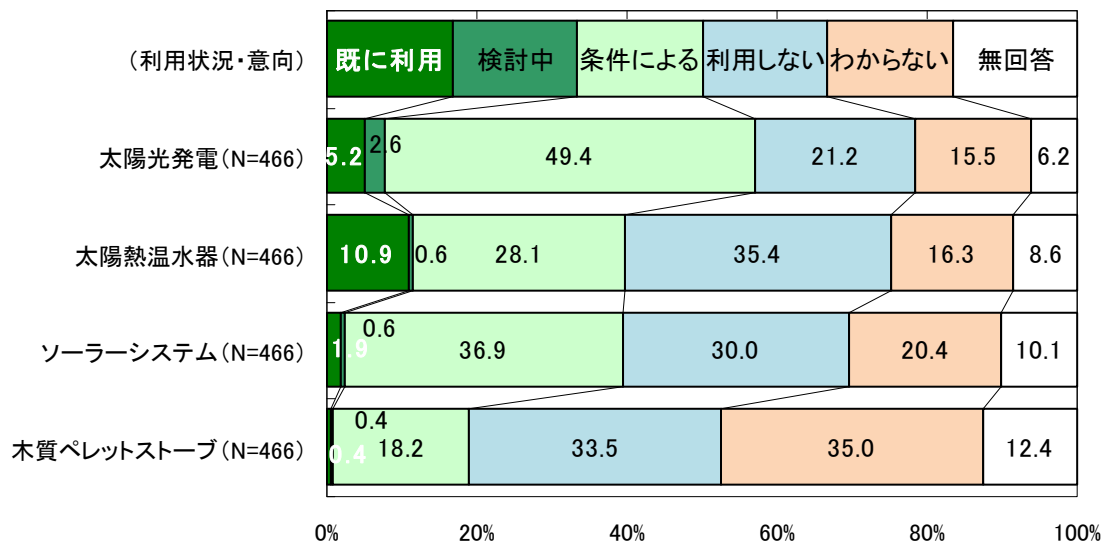
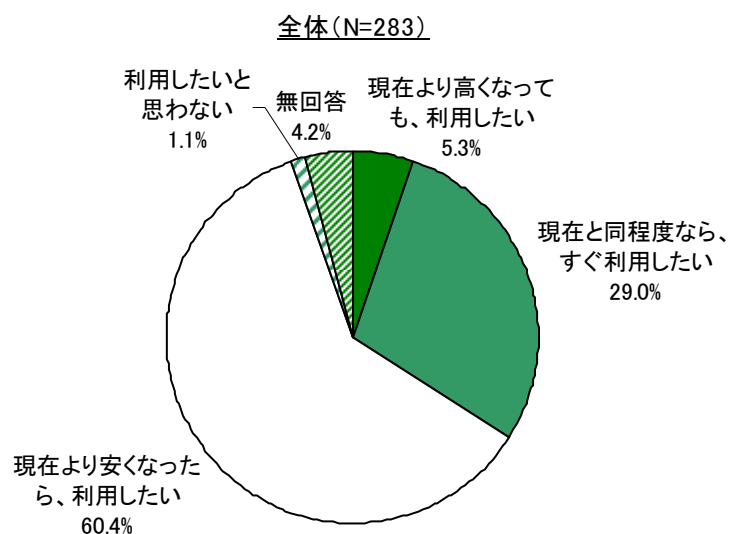


図4. 1-3 クリーンエネルギーの利用状況

(4) 設置費及び燃料費との比較

クリーンエネルギーの設置に際して、「現在より安くなったら、利用したい」(60.4%)が最も高く、「現在より高くなっても、利用したい」は5.3%にとどまっています(図4.1-4)。

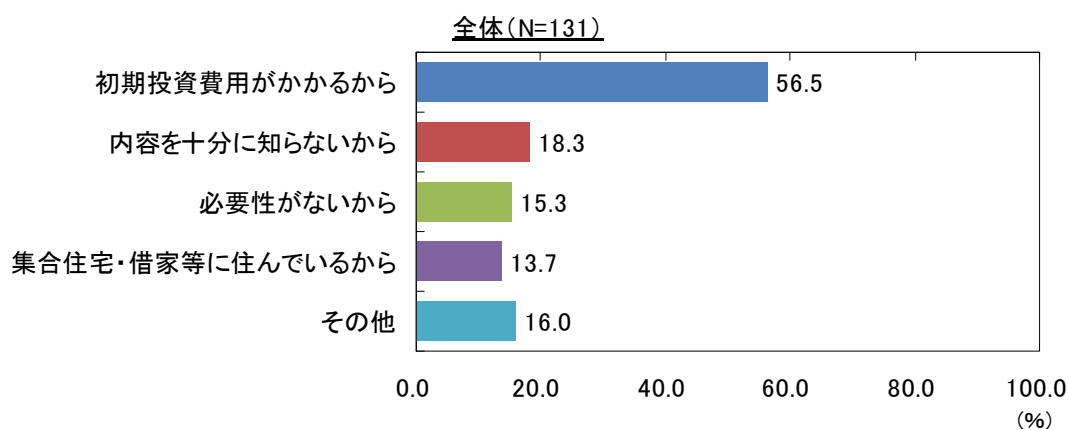


*クリーンエネルギーの利用状況で1つ以上「利用を検討中」「条件によっては利用したい」に○をした方が対象

図4. 1-4 設置費及び燃料費との比較

(5) 「利用しようとは思わない」「わからない」理由

クリーンエネルギーを「利用しようとは思わない」「わからない」理由は、「初期投資費用がかかるから」(56.5%)が最も高く、次いで「内容を十分に知らないから」(18.3%)、「必要性がないから」(15.3%)となっています(図4. 1-5)。



*クリーンエネルギーの利用状況で全てに「利用しようとは思わない」「わからない」に○をした方が対象

図4. 1-5 「利用しようとは思わない」「わからない」理由

(6) 住民共同発電が行われた場合の寄付・出資の意向

住民共同発電が行われた場合の寄付・出資の意向は、「わからない」(47.9%)が最も高く、次いで「寄付も出資もしたいと思わない」(21.5%)、「出資しても良い」(18.5%)、「寄付しても良い」(9.2%)となっています(図4. 1-6)。

また、金額については、「寄付」の場合は5,000円以下が最も多く、「出資」の場合は10万円以下が大半を占めています。

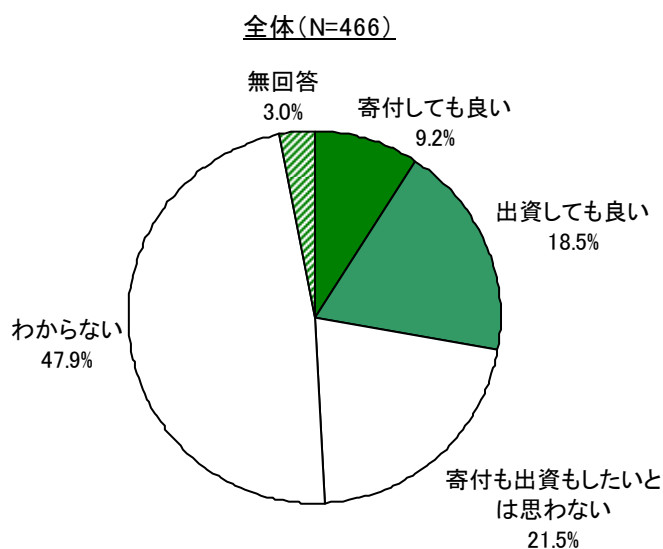


図4. 1-6 住民共同発電が行われた場合の寄付・出資の意向

(7) 御嵩町がクリーンエネルギーを利用していくことに対する評価

① 全体評価

御嵩町がクリーンエネルギーを利用していくことに対して「積極的に取り組むべき」及び「ある程度積極的に取り組むべき」の合計は67.0%となっており、町がクリーンエネルギーを利用することに肯定的な評価が約7割を占めています(図4. 1-7)。

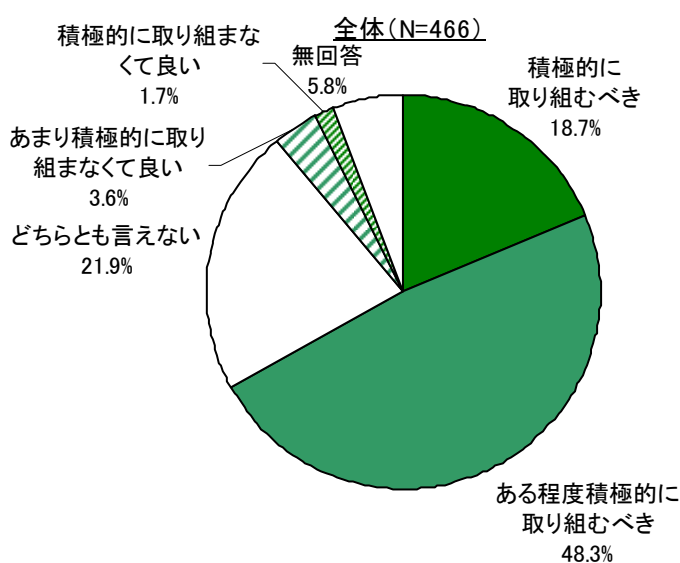
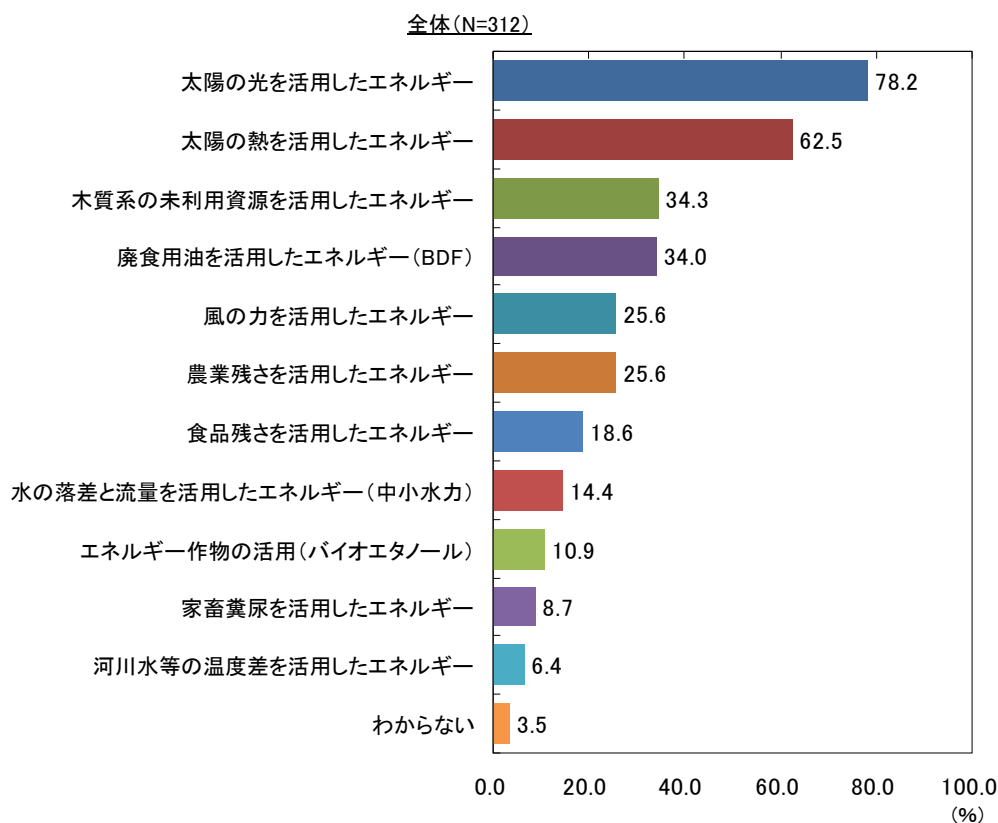


図4. 1-7 御嵩町がクリーンエネルギーを利用していくことに対する評価

②御嵩町が利用していくことがふさわしいクリーンエネルギー

御嵩町が利用していくことがふさわしいクリーンエネルギーとしては、「太陽の光」(78.2%)が最も高く、次いで「太陽の熱」(62.5%)、「木質系未利用資源」(34.3%)、「廃食用油」(34.0%)、「風」「農業残さ」(25.6%)となっています(図4. 1-8)。



* 「積極的に取り組むべき」「ある程度積極的に取り組むべき」に○をした方が対象

図4. 1-8 御嵩町が利用していくことがふさわしいクリーンエネルギー

(8) 自宅でのエネルギー利用状況

①用途別エネルギー

暖房は「灯油」「電力」、冷房は「電力」、風呂は「LPガス」、炊事は「LPガス」「電力」が高くなっています(図4. 1-9)。

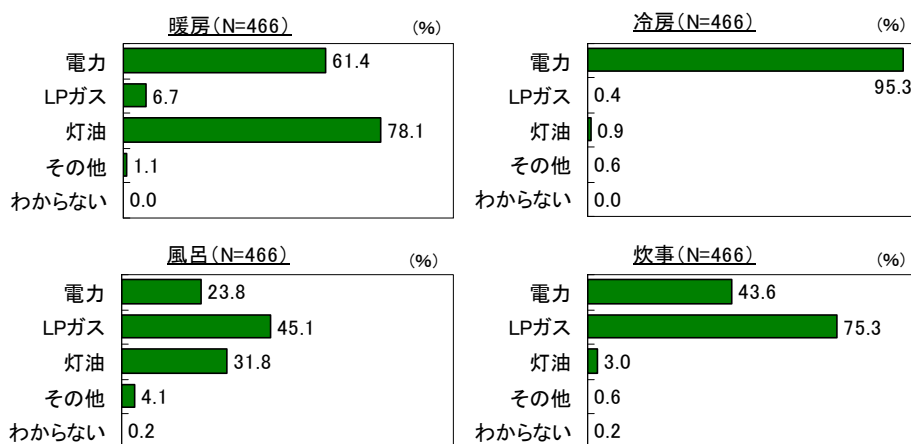


図4. 1-9 用途別エネルギー

②年間エネルギー消費量（平均）

年間の平均エネルギー消費量は、「電力」が 5,822kWh、「LP ガス」が 147m³、「灯油」が 375 リットルとなっています（表 4. 1-1）。

表 4. 1-1 年間エネルギー消費量・金額（平均）

	年間消費量（平均）	年間金額（平均）
電力	5,822 kWh	130,550 円
LP ガス	147 m ³	74,932 円
灯油	375 リットル	48,004 円

(9) 自動車保有状況

自動車保有状況は、「保有している」が約 9 割を占めます。

保有台数は、「3 台以上」(44.1%) が最も高く、「2 台」を含めて複数台保有が約 8 割を占めます（図 4. 1-10）。

なお、年間の平均ガソリン消費量は、1,709 リットルとなっています。

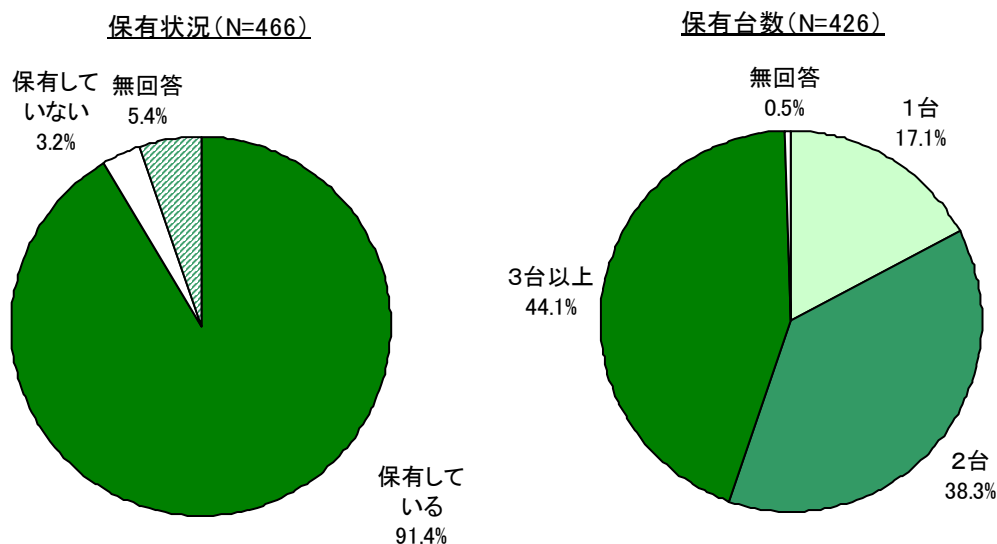


図 4. 1-10 自動車保有状況

(10) 省エネルギーの取組み状況

省エネの取組み状況は、「冷暖房の不必要なつけっぱなしはしない」(77.9%)が最も高く、次いで「まとめ洗い」(65.0%)、「急発進、急加速しない」(56.4%)、「テレビのつけっぱなしはしない」(56.0%)となっています(図4. 1-11)。

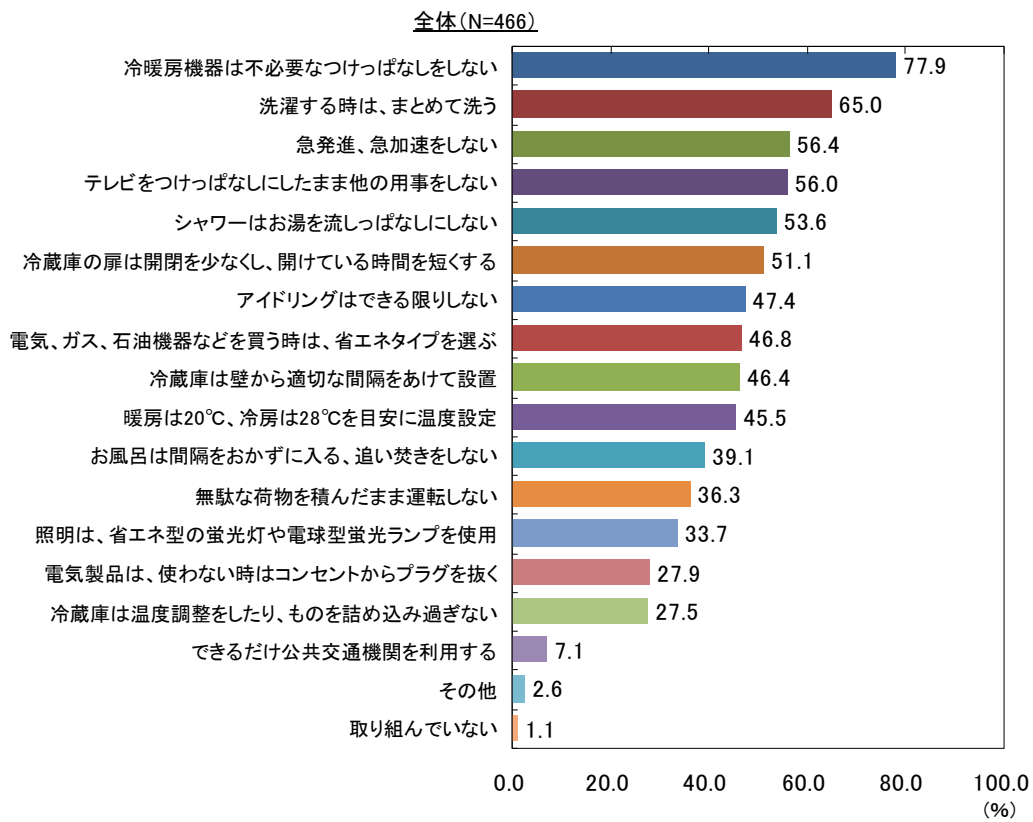


図4. 1-11 省エネルギーの取組み状況

(11) 省エネルギー機器の利用状況

既に利用している省エネ機器は、「ヒートポンプ給湯機」が11.6%、「クリーンエネルギー自動車」が6.7%、「ガス高効率給湯器」が3.2%となっています(図4. 1-12)。

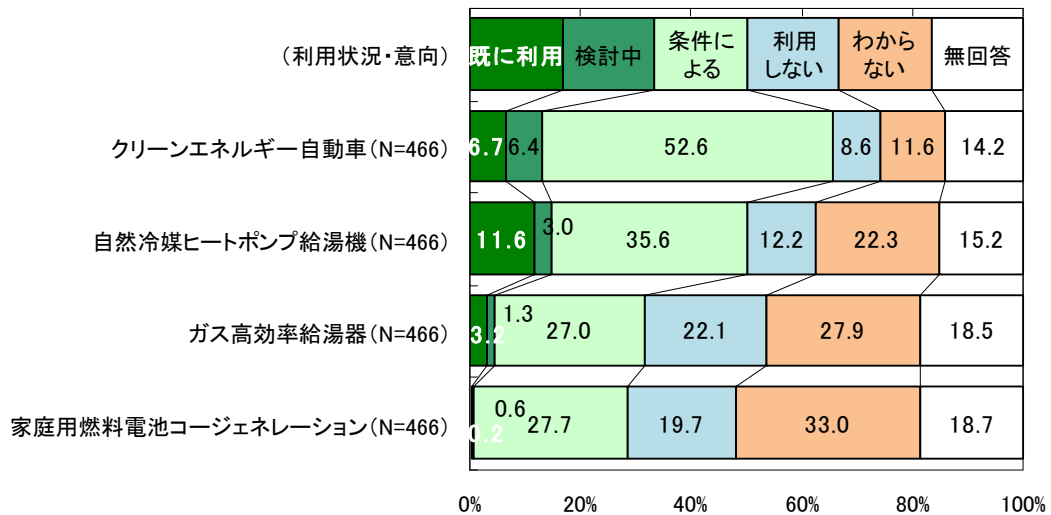


図4. 1-12 省エネルギー機器の利用状況

【自由意見（クリーンエネルギーとして活用できるかもしれないと思われる未利用資源等）】

性別	年齢	内容
女性	20代	山、川、穀物（米？）
女性	20代	特にないのですが、太陽や山など利用できるもので良いと思います。わざわざ無理に取り組むとかより（財政的に無理をしたり）あるものを使う。誰でもわかりやすいものを。長く続けられたり…の精神とかの方が個人的には好きです。
女性	30代	アンケートに、きちんと答えられずすみません。もう少し、クリーンエネルギーについて、町より、分かりやすい講義があってからだと、アンケートも書きやすくなると思います。
女性	30代	まだまだよくわかりませんが、私の住んでいる所は平地で1日中、さんさんと太陽の光が照りつけるので、太陽の光や熱を利用することは1番良いと思います。雨水を利用することや、畑や田んぼも多く、藁や草などが沢山出る家庭があるため、それらを有効に利用することは大切だと思います。藁など燃やして苦情もあるようですが、農地をお持ちの方は、やはり燃やさずにはおれないと思うので、それらを利用できれば、苦情も減り、良いのではないかと思います。
女性	30代	太陽光ぐらい。
女性	40代	助成金が少なすぎたりなかったりすれば、積極的に活用しようと思っても金銭的に無理である、お金持ちの人のためのものとしか思えない。関心のある方がスムーズに取り入れることができるようにすることも大切だと思う。太陽光発電が一番取り入れやすいと思うが、金額がはってくるのがネックだと思うので、個人負担を大きく軽減することで、ひとりひとりの考え方や生活も変わってくるのではないかな。ソーラーは良いが、屋根等に負担がかかりデメリットの部分も多くあり、良くなかった。まずは助成金を多く出すことを望む。
女性	40代	街灯
女性	40代	放置林が多く、近隣の方々は迷惑しています。そんな放置林をなくして、エネルギーとして利用してはどうかと思います。山も元気になり本来の役目も果たし、災害防止にもなると思います。美しい里山と美しいエネルギーを作ってほしい。
女性	40代	木、水、太陽熱
女性	50代	バイオエタノール（放置、休耕田等にエネルギー作物を栽培する）、廃食用油を活用→役場の車に。
女性	50代	季節毎に、何を利用したらいいのかを考える。稲・もみがらは燃やすだけでなく、その物が活きる方法などあったらいいと思う。未来のために、幸福になるためにも、皆で交流の場もあると思う。
女性	50代	山の木（雑木も含めて）、休耕田等の雑草
女性	50代	川の淵に歩く道を作り、その道のエネルギーを。皆、安全で歩くところを待っているとします。皆が散歩で歩くエネルギーにならないのかな。川の水に風力もつけ、エネルギーを作ってほしい。
女性	50代	太陽光（熱）
女性	50代	太陽光と太陽熱が活用できる。
女性	50代	町の事をあまり知らず、町の活動にもあまり協力していない自分が言うのもおこがましいが、御嵩町は自然が多くあるので自然を利用したエネルギー、太陽、風、水、木等に力を入れたらどうでしょう
女性	50代	木質系の未利用資源
女性	50代	隣接する空地に風力発電の設備が欲しい。町・県・国等から補助があれば、すぐにでも実行したい。
女性	60代	家庭からでる庭木・草など枯した物を燃やす時の熱量。御嵩町の山の南側斜面へソーラーパネルを。町民も出資した者が使用（利用）できる電気。アパート作りも大切かもしれないが、空いた土地にソーラーパネルを。その地区の人達のエネルギーに。
女性	60代	間伐材、雑木林
女性	60代	間伐材、剪定枝
女性	60代	太陽光発電や太陽熱利用の新しい家を見ると、我が家もと思うのですが、何と言っても資金が必要です。そこが思い切れないところです。これから発展していく家庭は活用の意欲もあるでしょうが、何年住めるのかわからないのでは思い切れないところです。（援助が必要です）
女性	70代～	この地域も高齢者が増え、農業継続が困難となりつつあると思います。休耕田の利用（エネルギー作物）等はいかがでしょう。（作業、人材、苦しい事も…我家においても次世代の子供（45～46才）は農業離れですので、田畑を守る事は難しい！）
女性	70代～	間伐材や水田の草等。太陽光、太陽熱。小規模水力発電。生ゴミや食品の余り。
男性	20代	河川、池を活用した発電

性別	年齢	内容
男性	20代	個人住宅で太陽光発電設置したいと思っている人は、結構いると思いますが、設置費用が高く、できない方が多いと思います。よく職場の人と、話すことがあります。補助制度を利用したとしても設置費用が高くて、なかなか設置できないので、設置時の経済的負担を軽くしてほしいです。
男性	20代	雑草（立木）がクリーンエネルギーにならないかと思えます。
男性	30代	休耕地を活用したエネルギー作物の栽培
男性	30代	川
男性	30代	太陽光発電
男性	30代	米を作っていない田んぼを利用して「エネルギー作物」を栽培し、バイオエタノールを製造する。可児川や用水路に水車を設置する。小規模な水力発電。この前の様な大雨の際に川の水域が上昇し、設備が損傷しない為に、水面から上げられる工夫や、頑丈なものが必要。山林を間伐し、材木を利用するとともに、間伐による隙間に風車を設置し、風力発電をする。露岩の温泉地に地熱を利用した発電施設を建設する。各学校、公民館など、公共施設にソーラーパネルを取り付ける。各家庭にも国の補助とは別に町独自に補助制度を実施し、普及させる。何か一つのクリーンエネルギーに特化するのではなく、多様化させることにより、エネルギーの安定的な供給を実現させる。
男性	40代	その他のお願い。太陽光発電にすると、電気を売ることができ、とても良いのですが、難点がありますので、町をあげて改善運動を中電に呼びかけてほしいです。オール電化扱いにしないと使う分の電気代が高いので意味がないのでは？オール電化扱いにしくなくても、使う電気代も安く使えるようにする。オール電化にしても電気代が値うちに使えるのは23：00～翌朝7：00までだが、せめて21：00～9：00くらいまで使えないと寝る時間に起きて使わなくてはならないのでは？
男性	40代	可児川の水、みたけの森の木
男性	40代	御嵩町は自然豊で汚染を伴う企業も無い。従ってこれらは現状維持で良いと思う。クリーンエネルギーとしては、林業・農業にて排出される物で活用できる物があれば良いが、それらの知識が無いのでわからない。一般的に得る事が出来る以下の物で活用できるので？太陽光、廃食用油、庭木をチップにした物
男性	40代	雑草
男性	40代	雑草などは利用できないでしょうか。その他、稲など。以前テレビで放送された様な気がしますが。
男性	40代	太陽光 太陽熱
男性	40代	炭鉱で出来た地下の空調を利用した発電等、考えられないのか。政府、企業に出資及び協力して頂き、御嵩工業団地を工業団地のCO ₂ 削減モデルとして企業誘致出来ないか。（実験場）トヨタ自動車に出資して頂き、クリーンエネルギーによる発電所を建設し、ハイブリッドカー等のバッテリー充電を御嵩で行う（豊田市は近い）。名鉄広見線を太陽光発電にて走る様にする。（実験場）バイオマスエネルギーの利用なら出来るのでは？（産廃場を造るよりまし）
男性	40代	猪や猿など有害な動物を減らすため、動物の処分することを燃料とする。そうすることで有害な動物を本気になり一生懸命殺すことができ、減らすことができる。雷・山林の木・可燃ゴミ
男性	40代	風、竹、太陽光、地下水
男性	50代	てんぶらの油（廃油）の集積場を作り、集め、町のバスのエネルギーにする。お金は、最初はかかるが長い目で見れば良いと思う。
男性	50代	刈り取った雑草
男性	50代	間伐材等があり、自宅ではこれを利用した薪ストーブを設置
男性	50代	山あいにあるため風力発電（民家が少ない）
男性	50代	私の育った地域で、メタンガスを取って、うどん屋さんを営んでいる方がおられました。メタンガスは、にわとりの糞と残飯で発生させていました。
男性	50代	太陽光、間伐材、垂炭
男性	50代	木質系の間伐材
男性	60代	可児川を利用して中小水力
男性	60代	河川（小）水、
男性	60代	間伐材を活用する家づくり。
男性	60代	間伐材を利用し、温水として利用（公共施設、プール等）
男性	60代	現行の施策（行政）を前提とするのであれば、その活用はクリーンエネルギーではなく、ダーティマネーとして、消える可能性が大きく、当地域における取り組みは不要。
男性	60代	御嵩町は可児川を中心に街を構成している。可児川に流れる水を何とか利用できるのではないかと、ミニ水力発電はどうだろうか。
男性	60代	御嵩町内の山で年間を通じて風の強い地域があるなら、風力発電を設置

性別	年齢	内容
男性	60代	資源が少なすぎて活用する程でないと思う。太陽光はいいと思うけど老人ばかりで難しいと思う。
男性	60代	森林資源
男性	60代	水力発電
男性	60代	太陽光・太陽熱
男性	60代	地下水の利用。発電（水力）、飲料水、その他、作物育成。植物の油→一般燃料油の作成の研究をする。未来への構想→色々な音（雑音を含む）によって発電する様な事が出来ると良い。
男性	60代	農業残さ。食品残さ
男性	70代～	マイクロ水力発電の経費（コスト）効果等、研究見本を1機設置されたし。街路灯の消灯を、もう少し早々してはどうか？町長の努力を期待します。エコのアンケートとは関係ないが、御嵩城址周辺の木を切り、どこからでも見える様にして御嵩を訪ずれた人が御嵩城址を知る機会にもなります。見晴らしもよくして頂きたい。
男性	70代～	外国旅行した折に国道沿いにソーラーパネルを数kmにわたり設置していたのを見た。ソーラーパネルは屋根の上だけでなく、空地などの有効利用に設置できるようにしたい。出力が大きくなるが電力会社と話し合ってもらいたい。
男性	70代～	固体燃料を作り各戸に木炭ストーブを設置すれば、間伐材の利用にもなるのではないか。里山の利用も可能になる。
男性	70代～	山林の雑木がいいと思う。山をある程度伐採すれば、いのしし減少ともなると思いますが。上之郷地区はとにかく（いのしし）が多く出るために作物を作るのに困難です。
男性	70代～	農業残さ、家庭の庭木の枝葉等を利用
男性	無回答	農作物（休耕地）のエネルギー用作物の活用（バイオエタール）。中小水力
無回答	無回答	山森、川、田、畑から出る物
無回答	無回答	上之郷地区にて昔、小発電所が作られたと聞きます。検討に値すると思います。
無回答	無回答	太陽の光と活用したエネルギーを使用するのはとても良いと思います。（今現在、猛暑最中ですので、そう思うのかもしれませんが）やはり、自然が豊かな町なので、活用しながらも生きていける環境になれば良いと思います。もっと町民の方の関心を「環境問題」に向けるためにも、これからぜひ積極的な取り組みを続けてほしいです。若者はみな、学校で地球温暖化について学んでいます。きっと取り組みを支持するはずですよ。

4. 2 事業者意識調査

調査対象者数は、御嵩町商工会にご協力いただき、従業員数等を考慮して抽出した 50 事業者です。アンケート調査票の郵送発送・回収による自記入方式で、平成 22 年（2010 年）9 月 10 日～9 月 30 日（締切り）に実施しました。

10 月 14 日回収分までで、有効回収票数は 26 票、有効回収率は 52.0%でした

(1) 回答事業者プロフィール

回答事業者を業種別にみると、「製造業」（57.8%）が最も高く、次いで「サービス業」（19.2%）、「卸売・小売業」（11.5%）となっています（図 4. 2-1）。

従業員数の平均は 99 名、延床面積の平均は 22,780m² となっています。

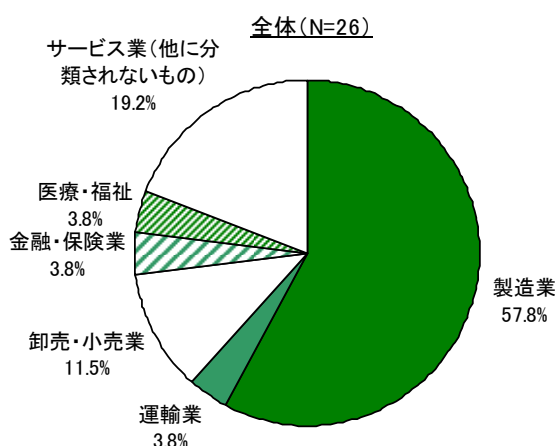


図 4. 2-1 回答事業者プロフィール

(2) 地球温暖化問題・クリーンエネルギーの関心度

地球温暖化問題の関心度（「非常に関心がある」と「関心がある」の合計）は 80.9%、クリーンエネルギーの関心度は 61.6% となっています（図 4. 2-2）。

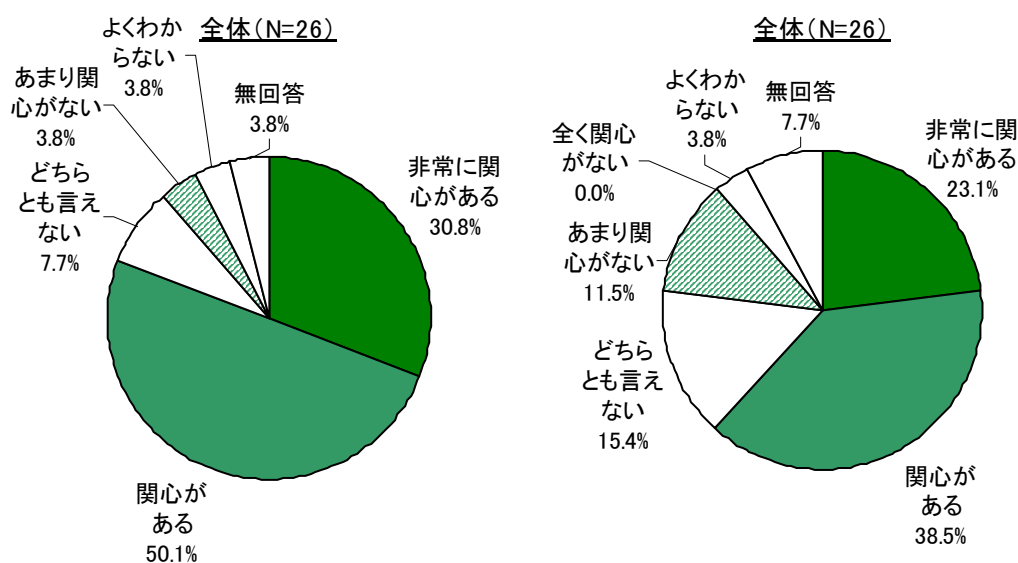


図 4. 2-2 【左】地球温暖化問題・【右】クリーンエネルギーの関心度

(3) クリーンエネルギーの利用状況

既に利用しているクリーンエネルギーは、「太陽光発電」「太陽熱温水器」(3.8%)のみです。また、検討中及び条件によっては利用したいクリーンエネルギーは、「太陽光発電」が約7割を占め最も高く、次いで「太陽熱温水器」「ソーラーシステム」が約4割を占めています(図4. 2-3)。

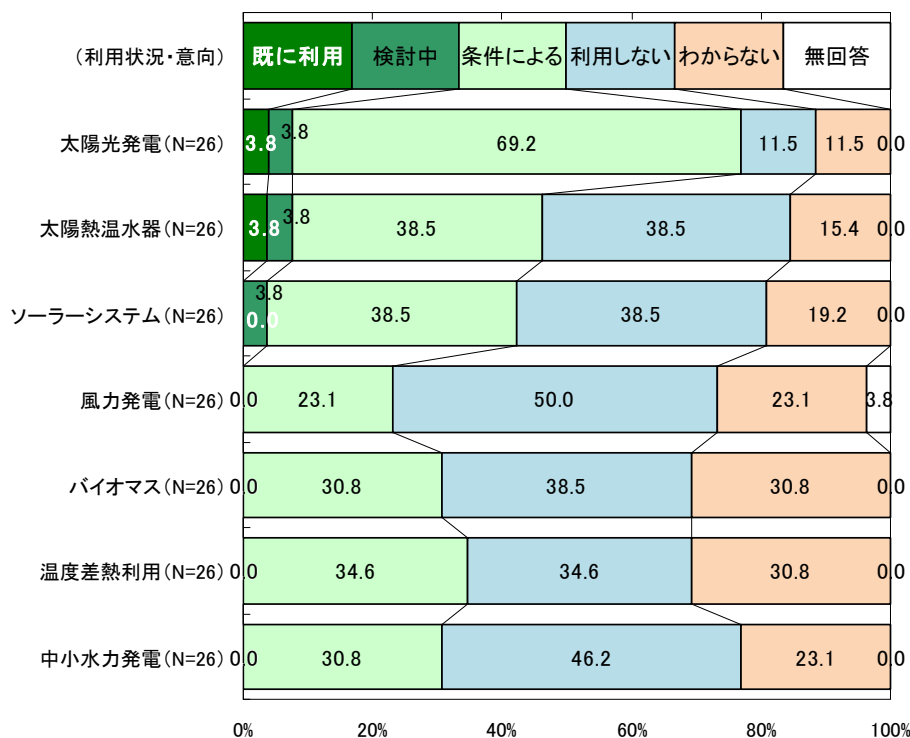
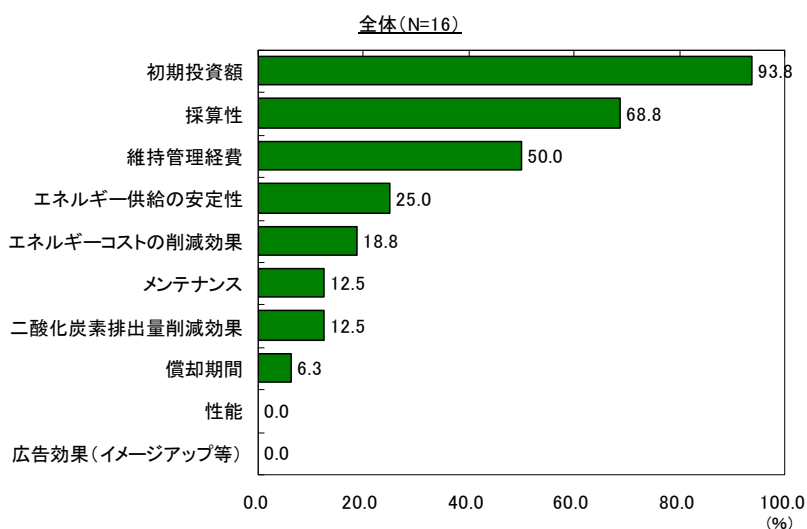


図4. 2-3 クリーンエネルギーの利用状況

(4) クリーンエネルギー利用に際して特に検討すべき事項

検討すべき事項は、「初期投資額」(93.8%)が最も高くなっています(図4. 2-4)。



*利用状況で1つ以上「既に利用」「利用を検討中」「条件によっては利用したい」に○をした事業者が対象

図4. 2-4 クリーンエネルギー利用に際して特に検討すべき事項

(5) 「利用しようとは思わない」「わからない」理由

クリーンエネルギーを「利用したいと思わない」「わからない」理由は、「初期投資が大きすぎる」(5事業所)が最も多く、次いで「コスト削減効果が不十分である」(2事業者)となっています(表4. 2-1)。

表4. 2-1 「利用しようとは思わない」「わからない」理由

全体	初期投資が大きすぎる	コスト削減効果が不十分である	情報が不足している	性能が不十分である	利用してもメリットがない	その他	無回答
10	5	2	1	1	1	1	4
100.0	50.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0

*上段はN数、下段は%。

*クリーンエネルギーの利用状況で全てに「利用しようとは思わない」「わからない」に○をした事業者が対象

(6) クリーンエネルギー関連事業に関する取組み状況

クリーンエネルギー関連事業に関する取組み状況は、「まだ何もしていない」(53.9%)が最も高く、次いで「検討する意向はない」(30.8%)、「事業化に向けて検討している」(7.7%)、「既に事業を行っている」(3.8%)となっています(図4. 2-5)。

「既に事業を行っている」事業者の事業内容は「太陽熱や太陽光を利用したホーム分電盤の製造販売」となっています。

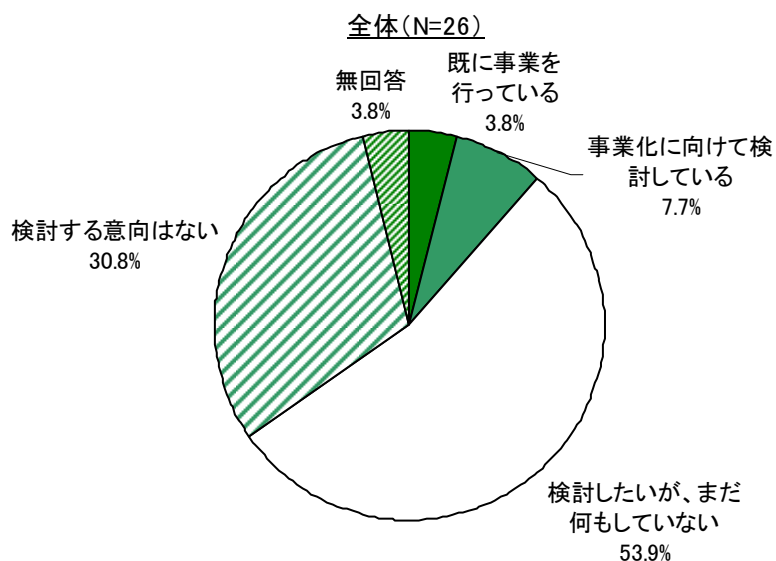


図4. 2-5 クリーンエネルギー関連事業に関する取組み状況

(7) 御嵩町がクリーンエネルギーを利用していくことに対する評価

①全体評価

御嵩町がクリーンエネルギーを利用していくことに対して「積極的に取り組むべき」及び「ある程度積極的に取り組むべき」の合計は80.8%となっており、町がクリーンエネルギーを利用することに肯定的な評価が8割を占めています（図4. 2-6）。

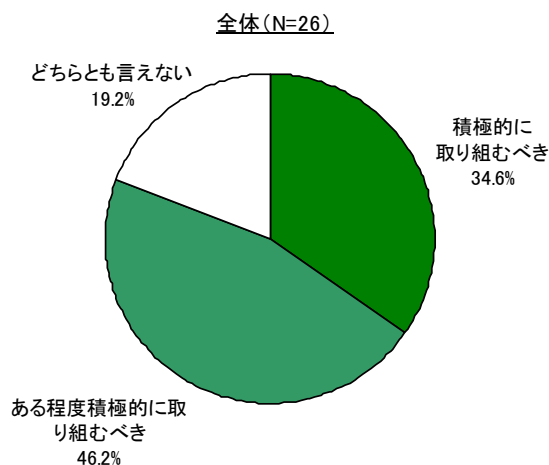
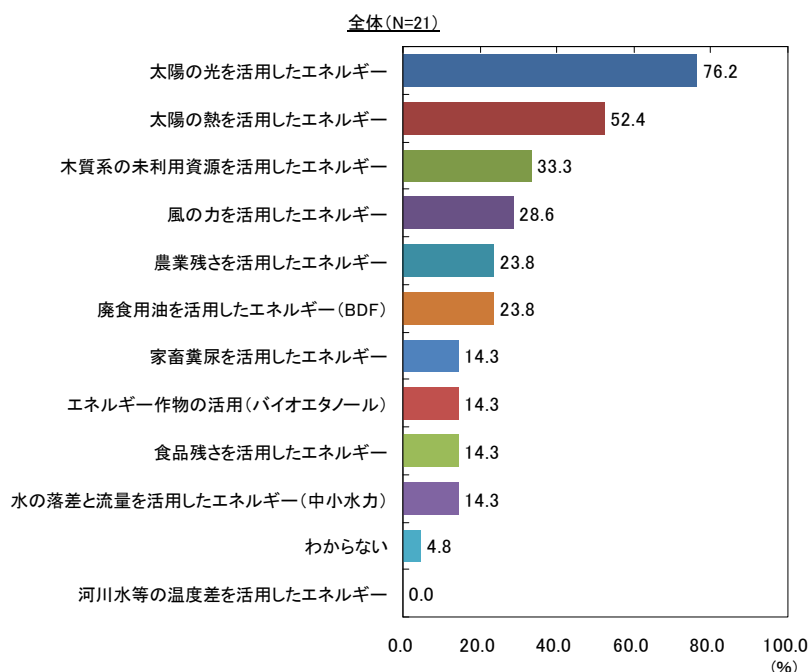


図4. 2-6 御嵩町がクリーンエネルギーを利用していくことに対する評価

②御嵩町が利用していくことがふさわしいクリーンエネルギー

御嵩町が利用していくことがふさわしいクリーンエネルギーとしては、「太陽の光」(76.2%)が最も高く、次いで「太陽の熱」(52.4%)、「木質系未利用資源」(33.3%)、「風」(28.6%)、「農業残さ」「廃食用油」(23.8%)となっており、住民調査とほぼ同様の結果となっています（図4. 2-7）。



* 「積極的に取り組むべき」「ある程度積極的に取り組むべき」に○をした事業者が対象

図4. 2-7 御嵩町が利用していくことがふさわしいクリーンエネルギー

(8) ISO14001 取得状況・エコアクション 21 参加状況

ISO14001 を「既已取得している」が 26.9%、エコアクション 21 に「既に参加している」が 3.8%となっています（図 4. 2-8）。

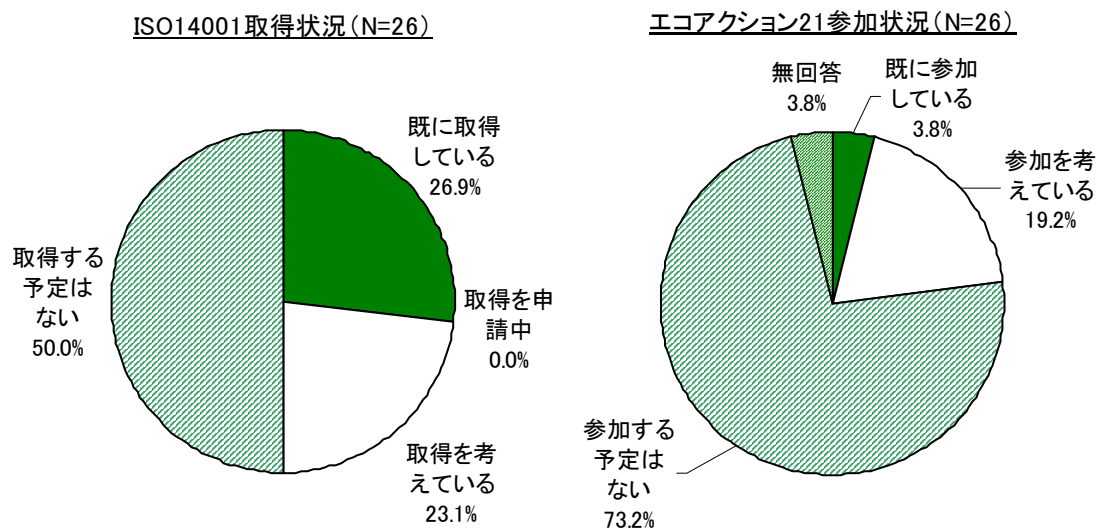


図 4. 2-8 ISO14001 取得状況・エコアクション 21 参加状況

(9) ESCO 事業の取組み状況

ESCO 事業の取組み状況は、「何も検討していない」(53.9%) が最も高く、「既に参加」及び「実施を検討」は 3.8%にとどまっています（図 4. 2-9）。

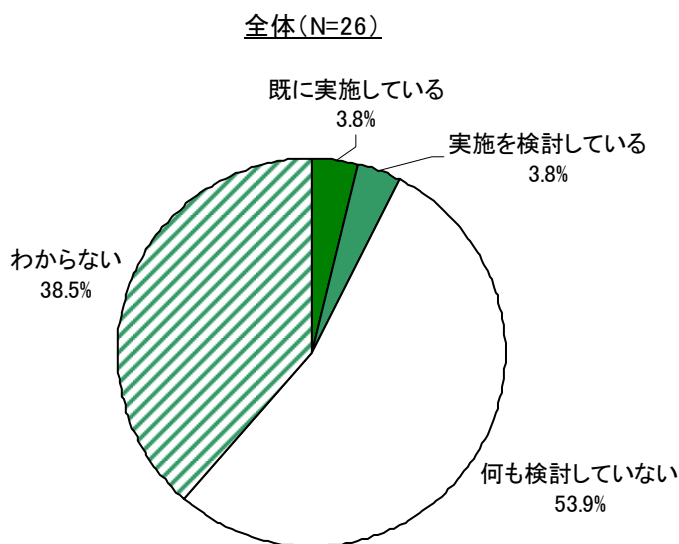


図 4. 2-9 ESCO 事業の取組み状況

(10) 「グリーン電力」の利用状況

グリーン電力の利用状況は、「何も検討していない」(61.6%)が最も高く、「購入を検討」は3.8%にとどまっています。

また、御嵩町の中で作られたクリーンエネルギーの環境価値分のグリーン電力証書への対応については、「検討してみたい」が34.6%、「検討するつもりはない」が15.4%となっています(図4. 2-10)。

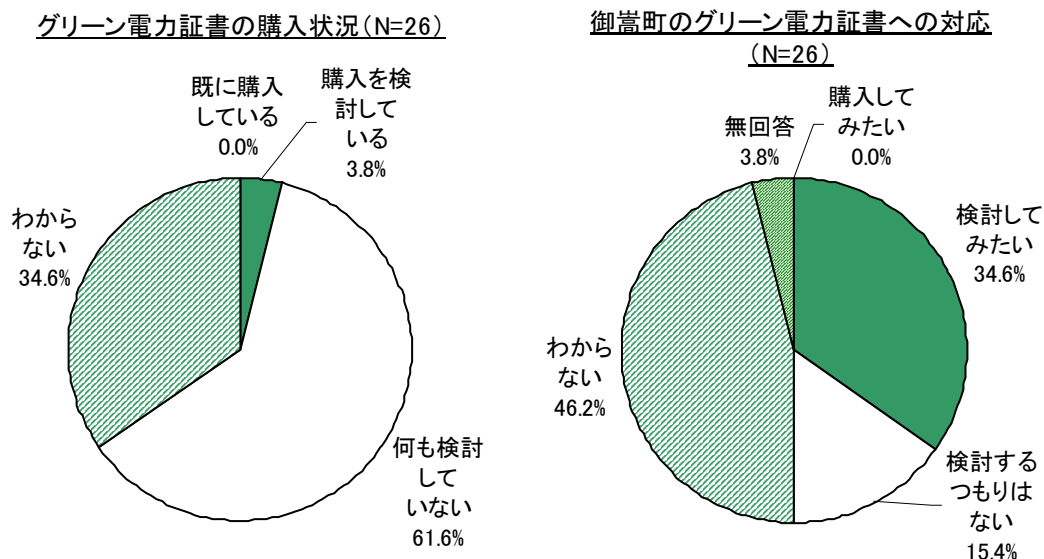


図4. 2-10 【左】「グリーン電力」の利用状況・【右】御嵩町の「グリーン電力証書」への対応

(11) 年間エネルギー消費量(平均)

年間の平均エネルギー消費量は、「電力」が3,058,362kWh、「LPガス」が82,345m³、「灯油」が2,471リットル、「軽油」が66,685リットル、「重油」が50,809リットルとなっています(表4. 2-2)。

表4. 2-2 年間エネルギー消費量(平均)

	年間消費量(平均)
電力	3,058,362 kWh
LPガス	82,345 m ³
灯油	2,471 リットル
軽油	66,685 リットル
重油	50,809 リットル

【自由意見（クリーンエネルギーとして活用できるかもしれないと思われる未利用資源等）】

業種	内容
製造業	太陽光発電を導入し、二酸化炭素排出量削減
製造業	処理には困っていませんが、運搬費が高額である。
製造業	ウレタン性廃液、廃プラスチック類
製造業	木質系資源の一部として、未使用木質ペレット、草刈り後の草、産業廃棄物となってしまうプラスチック類（ポリプロピレン加工品）
サービス業	ペットボトルを専門業者に処理してもらうのではなく、御嵩町内の企業や自治体で再利用化できるシステムを構築すべき。南山台の夜閉鎖している展望台あたりに風力発電装置を設置してエネルギー団地としてPRすべき。
サービス業	芝刈カス、剪定枝、落葉、生活生ゴミ、廃油など。御嵩町は産廃反対の町なので、これらが適用するには壁は高い。水や風は御嵩には難しい。太陽光熱は取り組むべきエネルギー！

【自由意見（特に重点を置いている省エネルギー活動）】

業種	内容
製造業	エアコン温度：26℃迄、照明灯：不使用時の消灯
製造業	工場内照明間引（電力量削減）、不用照明（不在箇所）の消灯
製造業	省エネの啓蒙活動。照明・空調の無駄削減。エアコンのメンテナンス。
製造業	節電の徹底
製造業	電気使用量の管理（削減）
製造業	電力量の使用量削減に取り組む
製造業	MOTTAINAI活動（省エネ、省資源、廃棄物削減、リサイクル）、クールビズ活動（冷房時の設定温度28度）
卸売・小売業	年に数回江戸時代の生活スタイルに戻り1日を過ごす。習慣的には節電・節水・コピー用紙など、事務用品の再利用
卸売・小売業	不用な電灯の消灯、冷房のこまめな調節
金融・保険業	①電気量の削減…18年度比5年間で6%の削減。②店舗周辺の清掃活動…月2回実施
サービス業	現場への乗り合わせ（商用車で座席の付いたタイプに変えたこと）。裏面利用（A4用紙のみ）。他社から来た封筒の再利用。スタッフに古着や古タオルなどを持参してもらい、雑布として再利用。
サービス業	電力に関して自家発と併用して使用しています。自家発の熱を利用しています（コージェネ）。電球などは省エネタイプに交換。大きな施設なので、業務に支障がでない範囲で省エネに従業員一同努めています。